

# 26歳で警察官になりました

Q 鳥根県警察を志望した理由は？

A 前職は小売業界で働いていましたが、店が万引きの被害に遭ったときに警察官が懸命に捜査し、犯人を捕まえる姿に感銘を受けました。私も犯罪等で被害に遭われた方の手助けができる、悲しい思いを少しでも和らげられる警察官になりたいと思い志望しました。

Q 警察官になって一番驚いたことは？

A 鳥根県は田舎なので、あまり事件等はないという印象でしたが、交通事故や110番通報の数が意外に多くて驚きました。

Q 転職をして良かったことは？

A 休暇を取得しやすい雰囲気があるため、私生活も充実し、仕事と休みのメリハリがつかます。給与面では、公務員のため安定しています。福利厚生面でも利率の高い貯蓄制度があるので、将来設計がしやすいです。

前職は全国転勤がありました。鳥根県警察職員は、鳥根県内での転勤のため、負担が少ないです。また私は、長男なので実家が近くで安心ということも良い点です。

Q 前職の経験が警察の仕事に活かされたことは？

A 前職では、子供から高齢者まで様々な年代の方と接する機会が多く、自然と会話力や対応力が身につき、その経験が警察の仕事にも活かされています。



ボランティアの方と見守り活動を行うなど、地域の方と連携を密にして、地域の安全・安心を守っています。



担当する地域の家庭や事業所などを訪問し、犯罪を予防するための指導や連絡を行います。



## 社会人経験を活かして警察官に

※警察官採用試験の受験資格（年齢）は、大学卒・高校卒業程度ともに、翌年4月1日現在で満33歳以下です。

平成27年採用。警察学校、交番、機動隊勤務を経て、現在は駐在所で勤務。警察官になる前は、小売業界で働いていた経験を持つ。

Q 受験を考えている方にメッセージをお願いします。

A 私は26歳の時に警察官になりました。学生時代から月日が経ち、新卒の同期と比べて体力や勉強で差がつかないか心配でしたが、警察学校で十分な教養を受けながら体力をつけることができますし、いざ警察官として勤務してみると、民間企業で得た経験等が非常に役に立っていることと感じました。警察官の仕事にちょっとした興味がある方は、まず試験を受けてみて、受かったら職業の選択肢として考えるということでも良いと思います。警察官の仕事は多岐にわたり、色々な経験を持った人材が必要です。ぜひ警察官になって一緒に仕事をしましょう。